

令和3年度 湘南台高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服従規律の徹底）	教育公務員としての自覚と使命感を持ち、常に全体の奉仕者であるという意識を持って行動する。	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止職員啓発・点検資料等を用いて定期的に職員に周知することで職員の意識の向上を図ることができた。 ○職員間のコミュニケーション等を通して、日常的に意識啓発、注意喚起を行うことにより、法令順守の認識を深め、公務外非行等を防ぐことができた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	常日ごろから人権感覚を磨き、自らの言動について見直し、人権に十分配慮して職務に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○職場討議・研修会や啓発資料を使用して、職員の理解・促進を深めた結果、職員の当事者意識が向上した。 ○教職員のアンケートを実施しハラスメントの実態や教職員の意識を確認し防止対策を行うことで、ハラスメントのない職場となった。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権意識を向上させ、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の打合せや職員会議等を利用し、定期的に具体事例を取り上げ、問題となる行動を再認識させることで意識の向上が図れた。 ○職員と生徒とのSNS等の利用禁止や私物端末の原則利用禁止などのルールについて周知を徹底することで、生徒に対する「わいせつ・セクハラ行為」等を未然に防止できた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を保証し、生徒に対する体罰や不適切指導、不適切発言を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○人権研修会や事故不祥事防止会議等において、生徒の人権に配慮した指導が日常的に行われているか確認することで、職員の人権感覚を高めることができた。 ○生徒が校内で相談しやすい環境を整えるとともに教員に対して相談しにくい場合には、SCやSSWなどにつなげた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜業務要項に基づいて、適正な業務を行う。また、厳正かつ確実な成績処理を行うとともに、調査書・推薦書等の発行には万全を期すことで事故防止を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ○入学者選抜業務における業務マニュアルを改正し、作業手順の理解を深めるために研修を行い、間違いのない業務の徹底を図った。作業中における職員の相互チェック及び点検時の複数人によるチェックの確実な履行により、入力ミスや採点ミスなどを防止した。 ○成績処理及び調査書・推薦書の作成及び取扱いについては、マニュアルに基づいた業務を再検証し、より事故を防げるような点検体制の構築を行った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の取扱いには細心の注意を払い、流出や紛失を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報の取扱いについてルールの徹底を図り、職員室内での保管について鍵のかかる場所などを利用した。また、個人情報の持ち出しは原則禁止にし、業務上必要なその度に申請させた。 ○定期テストでは答案返却までシュレッダーの使用は禁止し、誤廃棄防止を徹底した。 ○ICT担当が中心となり、校内ネットワーク運用要領により対策重要度の分類を整理し、重要度Ⅰ・Ⅱのデータは暗号化フォルダに保存するよう周知して、個人情報の適正な保存を徹底した。

業務執行体制の確保等	報告・連絡・相談体制を徹底し、風通しのよい職場環境づくりに努める。	<p>○お互いに声を掛け合うなど、気になることをすぐに相談できる雰囲気づくりを進め、日頃より職員間での情報共有を図った。</p> <p>○協力体制を充実させ、相互のチェック機能により事故を未然に防いだ。</p>
財務事務等の適正執行	公費及び私費の会計事務をマニュアルに沿って厳正に行い、事故を未然に防止する。	<p>○事故不祥事防止会議等において、啓発資料などを用いた意識の啓発と私費会計基準の周知徹底を図り、計画的な予算執行を図った。</p> <p>○会計担当者に向けて年度当初に研修会を実施した。</p> <p>○旅費及び諸手当の受給、学校における物品管理、現金等の取扱いなどについて、適切な管理を徹底し、不祥事の未然防止に努めた。</p>

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

(1) 令和3年度の達成状況について

- ア 毎月の職員会議後に、事故・不祥事防止会議を実施し、学校全体で継続的に意識啓発を行うことで不祥事防止に取り組む体制が作れた。今後も、さまざまな形態で効果的なプログラムを検討し、学校一丸となって事故・不祥事防止を進めていきたい。
- イ 入試選抜について、入学者選抜業務マニュアルを見直し、研修を充実させることでひとり一人の業務に対する理解が深まり入試選抜業務が事故なく進められた。
- ウ 成績処理において昨年度までの業務内容を精査し、より効率よく事故がない形での流れを構築していった

(2) 令和4年度に取り組むべき課題について

- ア 校内研修会をさらに充実させ、職員の事故・不祥事防止に対する意識の向上を図り、何事においても自分事と捉えて、一人一人が当事者意識を持った事故防止体制を築く。
- イ 学校運営協議会での意見や保護者からの意見を伺い、職員の事故・不祥事防止に反映するためのプログラムを引き続き検討する。
- ウ 入学者選抜業務にあたっては、令和3年度で進めた改善点をもう一度検証し、職員が当事者意識を持って事故の未然防止体制の構築を図る。
- エ 成績処理において点検の方法をさらに検討し、効率的かつ事故を絶対に起こさない体制を構築していく。